

授業改善等に関する報告書（2020 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（前期）図書館学課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
学習指導と学校図書館	安藤 友張	当初の予定（シラバス）では、グループワークを実施することを考えていた。Zoomを使ったグループワークの実施を検討したが、私自身、Zoomに習熟できておらず、実施できなかった。今後の改善点とする。
読書と豊かな人間性	安藤 友張	当初の予定（シラバス）では、Zoomを使ったプレゼンテーション（ビブリオバトル）を考えていたが、実施できなかった。受講生からの様々な指摘を踏まえ、来年度の改善点とする。
図書館実習	須賀 千絵	新型コロナウイルスの感染拡大により、授業内容の大幅見直しを余儀なくされ、メインの外部実習を中止せざるを得なかった。実習に代わる内容を急遽準備して実施したが、アンケート回答者からは幸い比較的好評であった。来年度以降も不測の事態に備え、実習に近い内容を講義でも取り入れるように考えていきたい。
児童図書館サービス論 a	須賀 千絵	通常は絵本の読み聞かせを多く取り入れた内容としているが、メディア授業のため、著作権法の関係上、読み聞かせをおこなうことはできなかった。学生から大きな不満はなかったものの、児童資料の解説の授業としては、今後の学生の自主的な読書に依存せざるをえない点が残念であった。例年より課題は少なかったが、1名から課題の多さの指摘があった。メディア授業の慣れない環境の影響もあると思われるため、後期の授業では、毎週のリアクションペーパーの数を減らし、小テスト等に一部置き換えた。
児童図書館サービス論 a	須賀 千絵	通常は絵本の読み聞かせを多く取り入れた内容としているが、メディア授業のため、著作権法の関係上、読み聞かせをおこなうことはできなかった。学生から大きな不満はなかったものの、児童資料の解説の授業としては、今後の学生の自主的な読書に依存せざるをえない点が残念であった。例年より課題はかなり減らしているが、それでも1名から課題の多さの指摘があった。メディア授業の慣れない環境の影響もあると思われるため、後期の授業では、毎週のリアクションペーパーの数を減らし、小テスト等に一部置き換えた。
学校経営と学校図書館	安藤 友張	2015年に制作した授業動画を使用した。ただし、やや古い情報が含まれていた。本科目では、パワーポイントのスライドをPDF形式でアップロードしなかったので、今後はアップロードしたいと思う。
学校経営と学校図書館	安藤 友張	2015年に制作した授業動画を使用した。ただし、やや古い情報が含まれていた。本科目では、パワーポイントのスライドをPDF形式でアップロードしなかったので、今後はアップロードしたいと思う。
図書館情報資源概論 a	安藤 友張	教科書を指定したが、教科書の内容を十分に説明・活用できなかった点を今後の改善としたい。パワーポイントのスライドを音声入りにできなかった点も改善点とする。
図書館概論	須賀 千絵	例年実施している図書館へのフィールドワークの課題もできなかったため、図書館を実際に見ることなしに、すべて口頭や写真等での説明となった。学生からの「内容が多い」という指摘は、口頭での説明内容が多くなったためと思われる。スライドは音声の補足であり板書のつもりではなかったが、アンケートの記述から、すべて書き写さなければならないというプレッシャーを受けたように感じられるので、後期授業では文字数を減らすこととした。
図書館概論	須賀 千絵	例年実施している図書館へのフィールドワークの課題もできなかったため、図書館を実際に見ることなしに、すべて口頭や写真等での説明となった。学生からの「時間がかかる」「話す速度が速い」という指摘は、口頭での説明内容が多くなったためと思われる。資格を取得するための授業であるという性格上、教えなければならない内容はあらかじめ決まっているが、メディア授業では、情報の伝達量に限界がある。後期の授業では、自主的に学ぶ内容の一部を移し、授業時間内の伝達量の軽減に努めたい。